

#### (4) 子どもの健全育成(からだをつくる、脳をつくる)

子どもの身体の育成には、生活リズムを整えること、食事や運動、親の関り方など、保護者が児の成長・発達経過を理解することが必要になってきます。見通しを持った子育て、成長・発達を促すために、適切な時期に、適切な正しい情報を提供することが大切です。

##### ○基本的な生活習慣の確立について(令和2年度3歳児健診)

		就寝時間				
		総数	～20時台	21時台	22時台	23時以降
起床時間	総数	100	18.0	59.0	20.5	2.5
	～6時台	43.5	14.3	25.0	3.3	0.8
	7時台	45.9	2.4	32.4	10.7	0.4
	8時台	7.8	0.4	1.6	5.0	0.8
	9時以降	2.8	0.8	0.0	1.6	0.4

##### ○早寝早起き群の推移

	H28	H29	H30	R1	R2
早寝早起き群	17.1	14.2	14.4	15.6	14.3

基本的な生活習慣の確立として、早寝・早起きについて、6時台までに起き、8時台までに寝る早寝早起き群は、14.3%となっています。過去の早寝早起き群の推移をみると、大きな差はありません。今後も継続して生活リズムを整えることの大切さを伝えていく必要があります。

##### ○排泄の自立に向けて

###### 1歳6ヵ月児健診時トイレトレーニングの状況

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
実施	25.2	22.3	24.4	19.9	15.3
未実施	74.8	77.1	75.6	80.1	84.3

###### 3歳児健診時排泄の状況(排尿・排便のどちらも)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
自立	48.8	45.1	56.7	37.7	40.4
未自立	51.1	54.9	43.3	62.3	59.6

1歳6ヵ月児でのトイレトレーニングの実施の取り組みはまだ少なく、年々減少していることから、トイレトレーニングを始める時期が遅くなっていると考えられます。3歳児の排泄の自立は4割程度で、H28年度より減少傾向です。

からだの発達から考えると、1歳6ヵ月くらいからトイレトレーニングを始め、3歳までに排泄の自立をすることができるため、1歳6ヵ月児健診、2歳児・2歳6ヵ月児はみがき教室、3歳児健診の機会に排泄の自立に向けた保健指導をしています。今回の排泄の自立の減少をとらえ、保健指導の見直しを検討します。

#### ○朝食欠食者率の推移

	H28	H29	H30	R1	R2
1歳6ヵ月児	2.6	2.2	0.4	1.2	2.5
3歳児	4.1	3.5	3.1	2.7	2.0

また、子どものからだをつくるうえで重要な食事について、朝食欠食者の推移をみると、3歳児については年々減少傾向ですが、どちらも2%程度が朝食を毎日食べていないことがわかります。

朝食欠食者をこれ以上増加させないために、子どもの身体への影響はもちろん、家族みんなが朝食をとることの大切さなどを継続して伝えていきます。

#### 〈計画〉

- 赤ちゃん訪問や各乳幼児健診・教室・相談の機会をとらえ、成長発達に必要な保健指導を実施します。親自身が児の成長・発達経過を理解し、見通しを持った子育てができる様にしていきます。

## ○う歯予防

3歳児健診時のう歯経験者率をみると、令和元年度は11.6%と高かったものの、7~9%程度で推移しています。う歯保有者の状況をみると、1歳6ヵ月児健診時に母乳を飲んでいたり、間食が3回あるいはジュースをよく飲む者、仕上げみがきを時々しかしていない者など原因となった事項は多様であるが、むし歯になることを予防できたケースもあったと考えます。

1歳6ヵ月児健診時やはみがき教室時での歯科指導は行っていますが、特にはみがき教室に来所しない児もあり、どのようにハイリスク者に対し定期的なフォローができるのかを再度検討していく必要があります。また、定期的な歯科受診が親子でできる様、かかりつけ歯科医を持つことを伝えていきます。

### 3歳 う歯保有者の割合

年度	う歯保有者					う歯経験者率	う歯数	
	A	B	C1	C2	計		総数	1人平均
28	15	10	1	1	27	9.2	121	0.41
29	16	7	0	1	24	8.5	87	0.31
30	12	4	0	1	17	5.9	61	0.21
1	20	10	0	0	30	11.6	114	0.44
2	14	4	0	0	18	7.3	48	0.20

園児の歯科健診結果では、年齢が上がるほど一人平均う歯数及びう歯罹患率も上がっています。しかし、3歳児については、年々う歯数、罹患率はよくなってきていますので、継続的な歯科指導は効果があると考えます。園での歯科巡回指導も含め、今後も継続した指導を行います。

### 園児歯科健康診査

		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
3歳児	一人平均う歯数(本)	0.89	0.76	0.60	0.38	0.41
	う歯罹患率(%)	21.9	17.0	16.3	13.8	11.2
4歳児	一人平均う歯数(本)	0.85	1.51	1.04	0.78	0.61
	う歯罹患率(%)	23.2	32.3	27.8	17.2	23.0
5歳児	一人平均う歯数(本)	1.40	1.28	1.57	1.07	1.08
	う歯罹患率(%)	30.8	33.9	30.9	22.5	22.4

学校歯科健診の結果では、一人平均う歯数について瑞浪市は横ばいであり変化はあまりありませんが、岐阜県平均より高い結果となっています。未処置歯を放置せずかかりつけ歯科医への受診をするなども重要になってきます。永久歯のむし歯を

1本でも減らすためには、保護者だけではなく児童への指導が重要です。毎日のブラッシングの仕方を見直す機会とするため、今後も学校への歯科指導も継続していきます。

学校歯科健診 学童期(12歳 中学1年生)の1人平均う歯数(本)

年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
瑞浪市	0.70	0.66	0.52	0.69	0.62
岐阜県	0.5	0.5	0.4	0.5	
国	0.83	0.81	0.73	0.69	

\*DMF歯数(永久歯における未処置歯、処置歯、喪失歯の1人平均本数)

※県・国は学校保健統計より

〈計画〉

- 6ヵ月児教室、8ヵ月児教室等歯の生え始めからむし歯予防についての啓発を行います。1歳児すくすく教室では、実際のみがき方の実演を含めたわかりやすい教育を行います。
- 1歳6ヵ月児、2歳児、2歳6ヵ月児、3歳児はみがき教室では、むし歯リスクの把握とともに、リスクに合わせた指導を行います。
- 子育て支援センター歯科相談、園への巡回歯科指導や学校歯科指導など継続して教育を行います。